

横浜市緑公会堂指定管理者公募要項

横浜市緑公会堂の指定管理者(管理運営を実施する団体)を公募します。

1 指定管理者制度について

「公の施設」の管理については、公共団体等に限られていましたが、平成15年6月の地方自治法の一部改正により、多様化する市民ニーズにより効果的・効率的に対応するため、民間の能力を活用しつつ、市民サービスの向上と経費の削減等を図るため、指定管理者制度が導入されました。

指定管理者制度は、従来の管理委託制度とは異なり、地方公共団体の出資法人や公共団体に限らず、民間事業者も議会の議決を経ることによって「公の施設」の管理を行う指定管理者となることができます。

横浜市緑区(以下「区」という。)では、令和4年4月1日から横浜市緑公会堂の指定管理者の選定にあたり、次のとおり広く事業者を公募し、管理運営について創意工夫のある提案を募集します。

2 公募の概要

(1) 施設名称

横浜市緑公会堂(以下、「緑公会堂」という。)

(2) 指定期間

令和4年4月1日から令和9年3月31日まで(5年間)

(3) 指定管理者の公募及び選定の方式

指定管理者の公募及び選定は、「横浜市緑公会堂の指定管理者の候補者の選定等に関する要綱」に基づき、公募型プロポーザル方式による提案審査を行い、選定委員会の意見を尊重して、指定管理者の候補者(以下、「指定候補者」という。)及び指定候補者を指定管理者として指定できない場合に指定候補者に代わって指定候補者となる者(以下、「次点候補者」という。)を選定します。

(4) 選定委員会の設置

横浜市公会堂条例第16条の規定により「横浜市緑公会堂指定管理者選定委員会」を設置し、審査基準に基づいて書類審査及び面接審査等を行います。

(5) 審査結果等の通知及び公表

審査結果は、応募者に対して速やかに通知します。

また、審査の経過及び結果は、指定候補者として選定後、区のホームページへの掲載等により公表します。

(6) 協定の締結

区は、指定候補者と細目について協議を行い、その後、市会の議決を経て指定管理者として指定された後に、基本協定を締結します。

また、毎年度、指定管理料の金額等に関する年度協定を締結します。

(7) 問合せ先

横浜市緑区役所 総務部 地域振興課 区民施設担当

〒226-0013 横浜市緑区寺山町118番地

電話：045(930)2238 FAX：045(930)2242

E-mail:md-shiteikanri@city.yokohama.jp

3 公募対象施設

(1) 名称

横浜市緑公会堂

(2) 所在地

横浜市緑区寺山町 118 番地

(3) 施設概要 詳細は「横浜市緑公会堂指定管理業務 特記仕様書」を参照

竣工時期 昭和 47 年 5 月 15 日

構造 鉄筋コンクリート造

階数 地上 1～3 階建

延床面積 1,755.39 m²

施設内容 1 階：1 階東側階段下倉庫、1 階西側階段下倉庫

2 階：講堂、控室 1、控室 2、公会堂事務室

3 階：1 号会議室、2 号会議室、3 号会議室、4 号会議室

エレベーター

(4) 緑公会堂の概要

公会堂は、市民の集会その他各種行事の用に供する目的で設置されており、各区に 1 館の施設が整備されています。

緑公会堂は、JR・市営地下鉄グリーンライン中山駅から徒歩 5 分の便利な立地であり、緑区総合庁舎内にあります。508 席の講堂（多目的ホール）と会議室、控室などがあります。音楽会、各種発表会、講演会、会議などで、多くの市民の方にご利用いただいています。

4 指定管理者が行う業務の範囲

- (1) 緑公会堂の利用の許可等に関すること。
- (2) 緑公会堂の運営に関すること。
- (3) 緑公会堂の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (4) その他、横浜市緑公会堂指定管理業務仕様書のとおり
- (5) その他、市長が定める業務

5 指定管理料

公会堂の管理運営に係る人件費、事業費、事務費及び管理費等の経費に充てるため、横浜市は指定管理者に対して指定管理料を支払います。管理費には、建物、建物以外の工作物、土地及び設備（以下、「施設及び設備」という。）の維持保全に係る清掃、点検、運転・監視及び修繕等を含む修繕費の経費を含みます。

指定管理業務に係る経費は、応募時の提案額に基づき、会計年度（4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで）ごとに横浜市の予算の範囲内で、区と指定管理者が協議して決定します。（予算は議決案件であり、各年度予算案の議決が条件となります。）支払時期や額、方法等は協定にて定めます。

各年度の指定管理料決定のための協議の際に、選定時の提案書で示された指定管理料の金額から減額する場合には、管理運営や事業内容等（開館日数や開館時間の変更を含む。）に関して、横浜市と指定管理者の間で協議を行うこととします。

なお、指定管理者による管理運営が、本公募要項や協定で定めた水準を満たさなかった場合には、指定管理料の減額を行う場合があります。

賃金水準の変動への対応については、提案された人件費のうち給与等賃金水準の変動による影響を

受けるものを、賃金水準の変動に応じて見直すことで、2年目以降の指定管理料に反映していきます。
(以下、この仕組みを「賃金水準スライド」という。)

このため、収支予算書等に記入する人件費のうち、賃金水準スライドの対象となるものについては、基礎単価と各年度の配置予定人員を乗じた額を記入してください。

なお、賃金水準スライドの対象外の人件費については、必要額を積算して記入してください。

賃金水準スライドの詳細については、別添「指定管理者制度における賃金水準スライドの手引き」を参照してください。

6 公募及び選定のスケジュール

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| (1) 公募要項の配布期間 | 令和3年5月24日(月)～令和3年7月16日(金) |
| (2) 応募者説明会及び現地説明会 | 令和3年6月8日(火) |
| (3) 募集要項等に関する質問受付 | 令和3年6月14日(月)～令和3年6月15日(火) |
| (4) 質問に対する回答日 | 令和3年6月25日(金) |
| (5) 応募書類の受付期間 | 令和3年7月15日(木)～令和3年7月16日(金) |
| (6) 審査・選定(面接審査実施) | 令和3年8月上旬(予定) |
| (7) 選定結果の通知・公表 | 令和3年9月上旬(予定) |
| (8) 指定管理者の指定 | 令和4年1月上旬(予定) |
| (9) 指定管理者との協定締結 | 令和4年3月中旬(予定) |

7 応募に関する事項

(1) 応募者説明会及び現地見学会

応募方法、応募書類の記載方法等について説明会を開催します。応募を予定される団体は、できる限りご参加ください。当日は、公募要項等の資料は配布しませんので、横浜市緑区役所ウェブサイトから資料をダウンロードする等、各自でご持参ください。なお、説明会終了後現地見学会を行います。

ア 日時 令和3年6月8日(火) 午前9時30分～

(受付開始は午前9時15分から)

イ 場所 緑公会堂 2号・3号会議室

ウ 参加人数 各団体3名以内とします。

エ 参加方法 参加を希望される団体は、6月2日(水)正午までに、「横浜市緑区公会堂指定管理者応募者説明会及び現地見学会申込書」をFAX又はE-mailで緑区地域振興課に送付してください。(FAXの場合は、送信後に担当まで電話で到達確認をしてください。)

オ 備考

- ・「7(4)欠格事項」に該当する団体は、参加することができません。
- ・受付時に、応募団体の役職員(構成員)であることを証明する書類(名刺等)を確認いたします。
- ・当日、質問は受け付けません。受付期間に質問書を提出してください。
- ・お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

(2) 質問の受付及び回答

公募要項等の内容に関する質問は、質問書により受け付けます。

なお、質問は1団体につき5問までとします。ただし、共同事業体で応募を予定している場合は、共同事業体全体で1団体とみなします。

- ア 受付期間 令和3年6月14日（月）～令和3年6月15日（火）正午
- イ 提出先 横浜市緑区 地域振興課 区民施設担当
電子メール：md-shiteikanri@city.yokohama.jp
- ウ 提出方法 「質問書（様式イ）」に記入の上、上記提出先に電子メールでお送りください。
なお、電話でのお問い合わせには応じかねますのであらかじめご了承ください。
- エ 回答方法 令和3年6月25日（金）午後5時までに、緑区役所ウェブサイトへの掲載により
回答します。
緑区役所ウェブサイトURL：
https://www.city.yokohama.lg.jp/midori/kusei/shiteikanrisha/annai/kokaido_koubo2.html

(3) 応募者の資格

指定期間中、安全かつ円滑に対象施設を管理運営することのできる法人その他の団体（複数の団体が共同する共同事業体を含む。）とします。法人格は必須ではありませんが、個人での申請はできません。

(4) 欠格事項

次に該当する団体は、応募することができません。

- ア 地方自治法施行令第167条の4の規定により横浜市における入札の参加資格を制限されていること
- イ 法人税、法人市民税、消費税及び地方消費税等の租税又は労働保険料を滞納していること
- ウ 労働保険（雇用保険・労災保険）及び社会保険（健康保険・厚生年金保険）への加入の必要があるにも関わらず、その手続きを行っていないもの。
- エ 会社更生法・民事再生法による更生・再生手続中であること
- オ 当該指定管理者の選定を行う選定委員が、応募しようとする団体の経営又は運営に直接関与していること
- カ 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）又は暴力団経営支配法人等（横浜市暴力団排除条例（平成23年12月横浜市条例第51号）第2条第5号に規定する暴力団経営支配法人等をいう。）であること
- ※ 本項目について、横浜市が神奈川県警察本部に対し調査・照会を行うため、別添の「役員等氏名一覧表」（様式9）を提出してください。
- キ 指定管理者の責に帰すべき事由により、2年以内に指定の取消を受けたものであること
- ク 2年以内に労働基準監督署から是正勧告を受けていること（仮に受けている場合には、必要な措置の実施について労働基準監督署に報告済みでないこと）
- ※ 共同事業体の場合には、構成するすべての団体が前記の欠格事項に該当しないとともに、応募時に、「共同事業体の結成に関する申請書（様式10）」を提出することとします。また、選定後協定締結までに、代表団体及び責任分担を明確に定めた組合契約を締結し、組合契約書の写しを提出することとします。

(3) 応募手続きについて

ア 応募書類

- (ア) 指定申請書（様式1）
- (イ) 緑公会堂指定管理者事業計画書（様式2）
- (ウ) 令和4年度収支予算書（兼指定管理料提案書）（様式3）
- (エ) 賃金水準スライドの対象となる人件費に関する提案書（様式4）
- ※ 「指定管理者制度における賃金水準スライドの手引き」より

- (オ) 欠格事項に該当しない宣誓書（様式5）
- (カ) 応募団体の定款、規約又はこれらに類する書類
- (キ) 当該法人の登記事項証明書（法人の場合）
- (ク) 応募団体の、指定申請書を提出する日の属する事業年度の収支予算書及び事業計画書並びに前事業年度の収支計算書及び事業報告書（様式自由）
- (ケ) 税務署発行の納税証明書[その3の3]
 - ※ 法人税、消費税及び地方消費税について未納の税額の無いことの証明書です。
- (コ) 横浜市税の納税状況調査の同意書（様式6）
 - ※ 応募時点で横浜市に対して納税義務のない団体についても提出の必要があります。なお、指定管理者として指定された後は、この同意書をもとに、毎年度横浜市への納税状況（横浜市の課税状況の有無を含め）について状況調査を行います。
- (サ) 法人税及び法人市民税の課税対象となる収益事業等を実施していないことの宣誓書（様式7）
 - ※課税対象となる収益事業等を実施していない事により法人税の申告義務がなく、かつ実際に申告税額がない場合に、提出の必要があります。
- (シ) 労働保険（労災・雇用）の加入を確認できる書類：労働局、労働基準監督署又は労働保険事務組合発行の労働保険料の領収書の写し（直近の1回分）等
- (ス) 健康保険の加入を確認できる書類：年金事務所又は健康保険組合発行の健康保険料の領収書の写し（直近の1回分）等
- (セ) 厚生年金保険の加入を確認できる書類：年金事務所又は健康保険組合発行の厚生年金保険料の領収書の写し（直近の1回分）等
 - ※ 加入の必要がないため、(シ)・(ス)・(セ)のいずれかの領収書の写し等の提出ができない場合は、「労働保険・健康保険・厚生年金保険の加入の必要がないことについての申出書」（様式8）を提出してください。
- (ソ) 貸借対照表、損益計算書、財産目録又はこれらに類する書類（直近3か年の事業年度分）
 - ※ 別途、各年事業年度の団体の人数（従業員数・構成員数）がわかる書類を添付してください。
- (タ) 団体の現在の組織、人員体制を示す人事労務関係の書類（就業規則、給与規定等）
- (チ) 設立趣旨、事業内容のパンフレット等団体の概要がわかるもの
- (ツ) 役員等氏名一覧表（様式9）【※注】
 - ※ 共同事業体を結成して応募する場合には、さらに次の書類を提出してください。
- (テ) 共同事業体の結成に関する申請書（様式10）
- (ト) 共同事業体連絡先一覧（様式11）
 - ※ 共同事業体として応募する場合には、代表団体を決め、代表団体が応募書類を提出してください。なお、応募書類の内、(オ)～(ツ)の各書類については、構成団体全てについての書類を提出してください。
 - ※ その他、必要に応じて追加で書類の提出を求め場合があります。

イ 提出方法・部数

団体名の記載のある応募書類を（ア）から順に並べ、クリップ留めをして編冊した正本1部、副本6部及び応募団体が特定できないようにしたうえで編冊した（ファイルに綴じた）6部（団体名を黒塗りにしてコピーしたもの）を提出してください。

※注（ツ（様式9））については、印刷・押印済みの原本1部（写しは不要です）及び様式のデータ（CD-R等）を提出してください。

ウ 公募要項等の配布

令和3年5月24日(月)から令和3年7月16日(金)まで、緑区役所ホームページに掲載します。

緑区役所ホームページURL:

https://www.city.yokohama.lg.jp/midori/kusei/shiteikanrisha/annai/kokaido_koubo2.html

※公募要項等については、印刷物での配布は行わず、緑区役所ホームページでの公開のみとなります。応募者が印刷物として必要である場合には、同ホームページから印刷してください。

エ 応募申請書提出期限

令和3年7月15日(木)から令和3年7月16日(金)まで

午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで

(緑区役所開庁時間 土曜・休日・祝日を除く午前8時45分～午後5時)

オ 提出先

〒226-0013 横浜市緑区寺山町118番地

横浜市緑区 地域振興課 生涯学習支援係 区民施設担当(緑区役所4階41番窓口)

カ 提出方法

横浜市緑区 地域振興課 区民施設担当あてに、ご持参又は記録が残る送付方法(簡易書留等)にてご提出ください。なお、郵送の場合でも、提出は令和3年7月16日(金)午後5時を必着とします。

(6) 留意事項

ア 接触の禁止

選定委員会委員、横浜市職員その他の本件関係者に対して、本件応募について直接・間接を問わず接触を禁じます。

イ 重複応募の禁止

同一案件に対して、複数案の応募に参画することはできません。

ウ 応募内容変更・追加の禁止

提出された書類の内容の変更又は書類の追加はできません。ただし、選定委員会が認めた場合はこの限りではありません。

エ 団体役職員(構成員)以外の者による、次の行為の禁止

応募にあたって、応募団体(共同事業体に当たっては、構成団体)の役職員(構成員)以外の者が、次の行為を行うことを禁止します。

(ア) 指定管理者応募者説明会及び現地見学会への代理出席

(イ) 事業計画書等提出書類の作成(ただし、作成に関する技術的な助言等は除く。)

(ウ) 選定委員会の面接審査への出席

オ 応募者の失格

応募者が次の事項に該当した場合は、失格となる場合があります。

① ア～エの禁止事項に該当するなど、本公募要項に定める手続を遵守しない場合

② 応募書類に虚偽の内容を故意に記載した場合

カ 応募書類の取扱い

応募書類は理由のいかんを問わず返却しません。

キ 関係書類の著作権

区(横浜市)が提示する設計図書(平面図等)の著作権は区(横浜市)及び設計者に帰属し、団体の提出する応募書類の著作権はそれぞれ作成した団体に帰属します。

ク 情報の公開等

(ア) 応募書類について

指定管理者及び指定候補者から提出された応募書類については、「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」に基づく情報開示請求が提出された場合は、原則として請求に基づき請求者に開示されます。

また、指定管理者となった団体の応募書類（事業計画書、指定管理料提案書・収支予算書、団体の概要等）については、議決後公表します。

その他区（横浜市）が必要と認めるときには、提出書類の全部又は一部を使用できるものとします。

(イ) 審査の経過及び選定結果について

審査の経過並びに指定候補者及び次点候補者の選定結果（名称・点数）については、区のホームページで公表します。

ケ 応募の辞退

正当な理由がある場合に限り、応募書類を提出した後に辞退することを認めます。その際には、辞退届を提出してください。

コ 費用負担

応募に関して必要となる費用は応募団体の負担とします。

サ 団体の重要事項の変更

応募しようとする団体が、応募後に法人格等を変更（※）する可能性のある場合（応募時に法人化等の手続き中である場合など）は、必ず応募前に区と相談してください。

※ 法人格の変更とは、法人格を有していない団体が法人格を取得する場合、法人格の種類を変更するなど、法人格の一部を変更する場合も含まれます。

シ 公募要項の承諾

応募者は、応募書類の提出をもって、本公募要項、指定管理業務仕様書及び指定管理業務特記仕様書の記載内容を承諾したものとみなします。

8 審査及び選定に関する事項

(1) 審査方法

指定管理者の選定は、公募型プロポーザル方式による提案審査を行い、選定委員会の意見を尊重して、指定候補者及び次点候補者を選定します。

選定にあたっては、応募者の提出書類及び面接審査等の内容を、指定管理者評価基準項目（別添）に基づき総合的に審査します。

また、面接審査では、プレゼンテーションを行っていただき、それに対する質疑を行いますので、団体の代表者又は代表者の代理人（応募団体に所属するものに限る）合計3名までの出席をお願いします。面接審査に係る詳細については後日応募団体にお知らせします。

(2) 選定委員会

【横浜市緑公会堂指定管理者選定委員会】

土志田 誠人	（前三保町自治会会長）
中島 智人	（産業能率大学経営学部教授）
平山 孝子	（東京地方税理士会緑支部）
本田 義之	（緑区民音楽祭実行委員会委員長）
正木 きよ子	（緑区民生委員児童委員協議会副会長）

(3) 会議の公開

選定委員会の会議は、原則公開とします。ただし、公開しないことが適当であると選定委員会が判断した場合は、会議の一部又は全部を公開しないこととします。

(4) 評価基準項目

別添「横浜市緑公会堂指定管理者選定の評価基準項目」のとおり

※ 財務状況の評価が著しく悪い場合は、選定から除外する場合があります。

※ 指定候補者及び次点候補者となるためには、選定委員会の定める最低基準点（加減点項目を除く評価基準項目の合計点の6割以上）を満たすことが必要です。最低基準に満たない場合は、応募団体が1団体のみであっても指定候補者として選定せず、再度公募を行います。

9 選定結果の通知及び指定手続き等

(1) 選定結果の通知

選定結果については、令和3年9月上旬に、全応募団体に文書で通知します。

ア 指定候補者（1位団体）への通知：指定候補者の名称・点数

イ 次点候補者（2位団体）への通知：指定候補者及び次点候補者の名称・点数

ウ 3位以下の団体への通知：指定候補者、次点候補者及び当該団体の名称・点数

(2) 指定の手続き

指定候補者については、地方自治法の規定に基づき、指定管理者として指定する議案を市会に対し提出し、議決後に指定管理者として指定します。

指定にあたっては、指定管理者として指定した団体へ文書で通知するとともに、横浜市公告式条例（昭和25年横浜市条例第35号）の定めるところにより公告します。

(3) 協定の締結

区は、指定候補者と細目について協議を行い、その後、指定候補者が市会の議決を経て指定管理者として指定された後に、基本協定を締結します。

また、毎年度、指定管理料の金額等に関する年度協定を締結します。

(4) 協定の主な内容

協定の内容は概ね次のとおりとします。詳細については別添の基本協定書（素案）を御確認ください（※最終的な内容は指定候補者に提示します）。

ア 管理運営業務の範囲及び実施に関する事項

イ 指定期間に関する事項

ウ 利用の許可等に関する事項

エ 事業計画書に記載された事項

オ 利用料金及び減免等に関する事項

カ 横浜市が支払うべき経費等に関する事項

キ 施設内備品の管理等に関する事項

ク 管理運営業務に関し保有する個人情報の保護等に関する事項

ケ 利用状況及び事業報告等に関する事項

コ 業務の評価等に関する事項

サ 指定の取消及び管理業務の停止等に関する事項

シ 損害賠償等に関する事項

ス その他区長が必要と認める事項

(5) 指定候補者の変更

市会の議決を得られないとき、又は指定手続の過程で指定候補者を指定管理者に指定することが著しく不相当と認められる事情が生じたとき等の場合には、指定候補者を指定管理者に指定しないことがあります。

この場合、区は、次点候補者と協議を行い指定管理者の候補者として繰上げ、市会の議決を経て指定管理者として指定するものとします。

なお、市会の議決を得られず指定候補者を指定管理者として指定しないこととした場合においても、当該施設にかかる業務及び管理の準備のため支出した費用等については、一切補償しません。

10 添付資料

- (1) 指定申請書（様式1）
- (2) 緑公会堂指定管理者事業計画書（様式2）
- (3) 令和4年度収支予算書（兼指定管理料提案書）（様式3）
- (4) 賃金水準スライドの対象となる人件費に関する提案書（様式4）
- (5) 欠格事項に該当しない宣誓書（様式5）
- (6) 横浜市税の納税状況調査の同意書（様式6）
- (7) 法人税及び法人市民税の課税対象となる収益事業等を実施していないことの宣誓書（様式7）
- (8) 労働保険・健康保険・厚生年金保険の加入の必要がないことについての申出書（様式8）
- (9) 役員等氏名一覧表（神奈川県警察本部調査・照会用）（様式9）
- (10) 共同事業体の結成に関する申請書（様式10）
- (11) 共同事業体連絡先一覧（様式11）
- (※(10)、(11)は、共同事業体を結成して応募する場合に使用)
- (12) 質問書（※質問時に使用）
- (13) 辞退届（※応募書類提出後に辞退する際に使用）
- (14) 緑公会堂指定管理者応募者説明会参加申込書
- (15) 緑公会堂指定管理者選定の評価基準項目
- (16) 緑公会堂指定管理業務 仕様書
- (17) 緑公会堂指定管理業務 特記仕様書（施設概要及び業務基準）
- (18) 指定管理者制度における賃金水準スライドの手引き
- (19) 参考資料（※公会堂条例、施行規則、基本協定書（素案）、その他）

11 その他

(1) 課税に関する留意事項

会社等の法人にかかる市民税、事業を行う者にかかる事業所税、指定管理者が新たに設置した償却資産にかかる固定資産税等の納税義務者となる可能性がありますので、財政局主税部法人課税課にお問い合わせください。なお、国税については税務署、県税については県税事務所へお問い合わせください。

(2) 指定の取消等

指定管理者が行う施設の管理の適正を期すために横浜市が行う指示に従わないとき、その他指定管理者による管理を継続することが適当でないと認められるときは、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ずることがあります。

指定取消又は管理業務の停止を行う必要がある場合の例として、次のようなものが考えられます。

- ① 当該施設の設置条例又は協定の規定に違反したとき

- ② 地方自治法第 244 条の 2 第 10 項の規定に基づく報告の要求又は調査に対して、これに
 応じず又は虚偽の報告を行い、若しくは調査を妨げたとき
- ③ 地方自治法第 244 条の 2 第 10 項の規定に基づく指示に従わないとき
- ④ 当該施設の指定管理者公募要項に定める資格要件を失ったとき
- ⑤ 申込みの際に提出した書類の内容に虚偽があることが判明したとき
- ⑥ 指定管理者の、経営状況の悪化や組織再編行為等により管理業務を継続することが不可能
 又は著しく困難になったと判断されるとき
- ⑦ 指定管理者の、指定管理業務に直接関わらない法令違反等により、当該団体に管理業務を
 継続させることが、社会通念上著しく不相当と判断されるとき
- ⑧ 指定管理者の責に帰すべき事由により管理業務が行われなるとき
- ⑨ 不可抗力（暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地すべり、落盤、火災、戦乱、内乱、テロ、
 侵略、暴動、ストライキ及び伝染病・感染症の流行などの横浜市又は指定管理者の責に帰す
 ることのできない自然的又は人為的な現象を言う）により管理業務の継続が著しく困難にな
 ったと判断されるとき
- ⑩ 指定管理者から、指定の取消又は管理業務の全部若しくは一部の停止を求める書面による
 申し出があったとき
- ⑪ 当該施設が、公の施設として廃止されることとなったとき
- ⑫ その他、横浜市が当該指定管理者による管理を継続することが適当でないと認めるとき
 指定管理者の責に帰すべき事由により指定取消又は管理業務の停止を行った場合には、指
 定管理料の減額、既に支出した指定管理料の返還又は横浜市に損害が発生した場合の損害賠
 償の支払い等を求めることがあります。

また、指定管理者が、横浜市の実施する指名競争入札に参加する資格を有する者であり、
 指定期間中に「横浜市指名停止等措置要綱」に定める措置要件に該当するときは、同要綱に
 基づく指名停止を行います。

12 問い合わせ先（事務担当）

横浜市緑区役所 総務部 地域振興課 区民施設担当

〒226-0013 横浜市緑区寺山町 118 番地

電話：045(930)2238 FAX：045(930)2242

E-mail:md-shiteikanri@city.yokohama.jp